

第1学年1組 算数科学習指導案

1 単元 大きいかず（本時 10/13）

2 本時の目標

買い物の場面で、お金の出し方を考え、数の感覚を豊かにすることができる。

（思考・判断・表現）

3 展開

段階	学習活動	教師の活動・支援
導入 (4)	1 28 円のガムを買う場面を見て、どんなお金の出し方があるか考える。 ・ 1 円玉だけだと、お金の数が多いよ。	・ 教員が客になり、模型のお金で支払う場面を見せることで、本時の学習意欲を高める。 ・ 1 円玉のみで支払う様子を見せる。
課題 (1)	2 本時の学習課題を把握する。 いろいろなお金の出しかたを考えよう	
展開 (35)	3 ワークシートに、お金の出し方を記入し、28 円のお金の出し方を考える。 ①お金の模型を並べる。 ②ワークシートにお金の出し方を書く。 4 チームで 28 円のお金の出し方と、その出し方で 28 円になっていることを説明する。 ・ 10 が 2 つで 20、5 が 1 つ、1 が 3 なので 20 と 5 と 3 を合わせて 28 になるからです。 5 学級全体で、28 円のいろいろなお金の出し方について話し合う。 6 36 円のあめを買うための出し方を考える。 7 本時の振り返りをする。	・ 何通りも考えようという意欲をもつことができるように、お金の出し方を 1 つずつ書くワークシートを準備する。 ・ おつりの出ないちょうど 28 円で考えるように指示する。 ・ <u>出し方に困った場合は、チームの人に聞くとよいことを伝える。</u> ・ <u>ワークシートを見せ合いながら、話し合うように指示する。</u> ・ 28 円になっている理由を説明させることで、大きい数についての理解を深める。 ・ <u>どの児童も話し合いに参加できるように話型をワークシートに書いておく。</u> ・ 児童を指名し、ワークシートをテレビ画面に映し出して発表させ、お金の出し方を板書する。 ・ いろいろなお金の出し方を考えることができていた児童を称賛する。 ・ 8 円を 5 円玉 1 枚と 1 円玉 3 枚で出すことが分かったなど、数に対する気づきがあった児童の意見を取り上げ、称賛する。
整理 (5)	お金の出し方にはいろいろあることが分かったよ。8 円は、1 円玉 8 個じゃない出し方もあるんだね。	

4 評価

5 円玉を使ったり、1 円玉を使ったりするなど、いろいろな種類のお金の出し方を考えることができたか。
（活動 3、4 の様子から）